

災害概略シート

項目	内容
災害の名称	1959 伊勢湾台風
災害の種別	台風
概要	1959（昭和34）年9月26日午後6時過ぎに潮岬に上陸した台風15号は、全国的に大きな被害をもたらし、名古屋市を中心とする臨海低平地に未曾有の大災害を引き起こし、台風による人的被害は明治以降最大規模であった。後に伊勢湾台風と命名されたこの台風災害が契機となって、そのほぼ2年後の1961（昭和36）年11月15日に災害対策基本法が制定された。
時代	近代（昭和）
発生年月日	1959（昭和34）年9月26日
主な被災地域	全国32道府県。 特に愛知県、三重県に被害が集中した。
被災規模	台風による犠牲者 5,098名
特記事項	